

生後 1 か月の顔面浸出症状とステロイド使用後に頬・耳の赤みが軽減した乳児アトピーの経過 (4 か月 女児)

症例 ID：001-00-TMM | 記録日：2000 年 10 月 10 日

1. 診断・治療前経過

生後 1 か月頃、頬と耳が赤く浸出性となりました。小児科でキンダベートと保湿剤を処方され、1 日 1 回使用しました。約 1 か月後には症状が手足へ広がり、別の皮膚科でもステロイドを使用しました。

生後 3 か月頃、遠方から松本医院を受診しました。

2. ステロイド使用歴

項目	内容
使用内容	顔面と四肢の症状にステロイド外用薬を使用しました。
製品名	キンダベート。別の皮膚科で処方された製品名は不明です。
強度	不明です。
使用期間	生後 1～3 か月頃に短期間使用しました。
中止時期	松本医院での治療開始時期です。
来院前／後	来院前に使用歴があります。来院後は使用していません。

3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

時期	治療開始から	経過
生後 1 か月頃	発症	頬と耳が赤く、浸出液が出ました。
約 1 か月後	症状拡大	手足にも症状が広がり、別の外用薬を使用しました。
生後 3 か月頃	治療開始	漢方入浴と外用処置を開始しました。
開始約 2 週間後	症状の波	ミルク摂取後に顔が急にかゆくなり、浸出性となることがありました。
開始約 3 週間後	改善傾向	頬と耳の赤みが軽減し、四肢にも症状を残しながら改善がみられました。
開始約 1 か月・記録時点	治療継続	症状の波をみながら入浴と外用処置を続けていました。

4. ピーク時期

ピークは、生後 1～3 か月頃に頬と耳が赤く浸出性となり、顔から手足へ症状が広がった時期です。

5. 困りごと

- ・乳児を連れて新幹線で遠距離通院する必要がありました。
- ・1 日 2 回の漢方入浴と外用処置を続ける必要がありました。

6. 経過のまとめ

治療開始約 1 か月の記録時点で、頬と耳の赤みは軽減し、四肢の症状も改善に向かっていました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。